

道東地区教会連合会機関誌



道東 52 こ う ほ う 光報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.52 Apr.,2024

巻頭言 日々のなかに

十勝教会 玉置千鶴子

春秋の彼岸の前後、東の窓から広前の内殿に朝陽が差し込み、灯明の明かりに自然の光を頂きます。「天地にいのちありてよるずのもの生かされ」る明かりです。

朝の日課は、御神飯のお給仕をして、早曉外に出て南西に向かい、早朝より御取次御祈念御用くださる金光様にお礼の遙拝をし、次に、東西南北、昼夜を分かつたお働きくださっている天地金乃神様にお礼を申します。雨や雪が降っていないければ教旗を掲揚し、「神人の栄光」を心の中で歌います。春の彼岸ぐらいはまだ外は真つ暗。時期によって月の位置が違います。満天の星空の中天に満月、北西に沈む月、南西に沈む月。地球が自転しながら一年かけて太陽の周りを巡り、月は約一ヶ月かけて地球を巡っている。そのことを実感し教えて頂きます。

自然のなす自然のうごきうつりゆく
奇しく尊くうごきうつりゆく
ひたすらに天地とともに生きゆくに

ふさわしき人間の生き方と思ふ
ひかりありて天地自然がありとう
しみじみ思ふ山歩みつ

自然への畏敬の念のうすれゆくは
かなしきことのきわみなりけり

○ 四代金光様の歌集「土」より

六年前の年の暮れに小さな椿の苗を友人からもらいました。赤西王母あかせいおうぼという茶花に使う椿でした。

春に庭の土におろしたのですが、草刈りの時、誤って芯を切ってしまった。それでも冬に鉢にあげ、お広前で越冬させるということを繰り返して、三年ぐらい前には芯のない木に蕾がつかまりました。去年、その小さな木が六つも蕾をつけ花を咲かせました。

周りの雑草よりも小さく、幹は鉛筆より

細く、力尽きて枯れてしまうのではないか
と思っていた木が今年も花を咲かせました。
命の営みです。

花のいのちわれのいのちと喜びを

いまともにせるこの出会いなり

花を見るわれとみらるる花のいのち

いまをひとつの花とわれなり

○ 四代金光様の歌集「土」より

四月一日の北海道新聞「卓上四季」

加速する人口減少、加えて気候変動
に止まぬ戦火、若い人達が社会の主
役を担う今世紀後半、世界も日本も
どうなっていくのか・・・

というものでした。課題だらけの今の世の
中の様子を端的に表しています。その世の
中で、人間を愛してやまぬ天地金乃神様の
お心をどう伝えさせてもらえばよいのか、
教祖様の信心をあらためて求め直し、世の
お役に立ちたいものです。

お知らせ 令和6年度 道東地区教会連合会 交流会・研修会

- ・交流会（懇親会） 6月15日（土）午後6時 帯広教会
 - ・研修会 6月16日（日）午前9時30分 帯広教会
- KONKO あれこれ塾「金光教と食」

教会掲示板

教会からあれこれ

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七二四一七四七四
FAX 〇一五七二四一七四七四

能登半島と台湾の地震など
の自然災害で被災された方々
と紛争で傷ついた人々に心か
らお見舞い申し上げ、速やか
な復旧、復興が進んで平安の
日々が訪れることを願いま
す。

○ 以前、議論好きの友人が、
政治と宗教の話題は相手を選
びよほど気をつけて話さなけ
ればならないと言っていました。
物事すべてにおいて人そ
れぞに考え方の違いがあるの
は当然のことですが、特に政
治と宗教については確固たる
信念や信条を持つ人が多いか
らだと思えます。意見の相違

で論争になり関係が気まず
くなることはよくあること
で、それは友人に限らず親
子、夫婦、同僚すべてに当て
はまるでしょう。

人間関係を上手に築くこ
とや人権を守ることは大切
ですが、それとは別に最近増
えてきた言論や表現などの
色々な面で自由が奪われる
のは少し違うように思いま
す。

○ 山菜取りが縁で知り合っ
た同年代の友人は家庭菜園
で野菜を育てているので、
時々その収穫した物を頂き
ます。彼女との会話は、自分
の今までの辛いこと悔しい
こと悲しいことのすべてや、
孫の進学や旅行に行ったこ
と、体調の不安や夫への愚痴
など、ほとんど彼女が自分の
ことを話すので私はいつも

ただ聞くだけです。彼女自身の話は私には何の関係もないように思えますが、黙って聞いてみると彼女の生き方を支えていたものが感じられ、その人生の中で今はとも幸せな時なんだなあと考えて不思議にうれしくなり、いつまでもこの幸せが続きますようにと思うのです。

女、特に主婦同士の話は、身内の話や愚痴や噂話、我慢ばかりが多くて(もちろんそれだけではないのですが)なじめず苦手と言う人もいますが、それはその人の人生に関わる一部を話しているだけのことであり、女に限らず男同士も同じだと思います。

私は、それほど多くない友人達ですが、今まで長い間つきあう中で話したどう

でもいいことの中に教えられること、気づかされることはたくさんありました。

世の中や暮らしの中で、大小にかかわらず感じる幸せと違和感は以外と大事なことに繋がっていることが多いので、その感覚を大切にしましょう。天下国家を語れとまでは言いませんが、巧妙に隠された不穏な世の空気に気がつかないふりをするのはやめましょう。それぞれの今の幸せを守るために、未来を担う人達のために世間の動向にもしっかりと目を向けていきたいものです。すべての人々の平和とささやかな幸せを祈りつつ。

(矢代)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二一四三三三九五四
FAX 〇一五二一四三三三九五四

日々教主金光様の御祈念と御取次を頂いて、私たち信奉者がおかげを蒙っていること誠に有り難いこととお礼を申し上げます。

4月7日、本部天地金乃神大祭に参拝のおかげを蒙りました。5日には昨年網走教会布教百年祭に講師のご用をいただいた今池教会(名古屋市)にお礼の参拝をさせて頂いたあと、本部へまいりました。

天気も良く、金光の里見川沿いの桜も満開でした。祭典は日曜日の午後ということもあり、多くの参拝者で祭場を埋めておりました。教主金光様には、いつもと変わることもなく、午前3時45分のお出まし、ご祈念、御取次のご用、

そして祭主のご用を賜り誠に有り難いことであり、終了後はまた御取次のご用を仕えられる。金光様のご祈念があればこそ、また御取次があればこそ私たち信奉者は救い助けられています。そして、本部大祭の御比礼をいただき、それぞれの教会の大祭が仕えられます。この度も在籍信奉者のお世話をいただいて、広前の掃除、直会の準備などしてくださいます。誠に有り難いこととお礼を申し上げます。そしておかげをいただき、少し広めの立ちテーブルを新調させていただきました。私自身も一年半前より膝の痛みと不自由さを感じております。お練り合わせを頂き、車椅子でも利用できる玄関にスロープを設置、同じく洋式トイレに変更など

一つひとつおかげを蒙ってまいりました。在籍信奉者のお祈り添えがあればこそ「できた」おかげです。

「できた喜び」「できるおかげ」をお礼申し上げながら日一日と元気な心で、これまでのご恩を知り、ご恩に報いる信心生活をさせていただくようおかげを蒙ってまいりたいと祈念しています。(田中)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―三三―六八三五
FAX 〇一五五―三三―六八三五

今年1月初めから日本及び周辺で地震が発生しています。1月1日、令和6年能登半島地震、4月3日には宮崎県で震度5弱の地震が発生しました。近年大型の地震が多いよう

に思われます。それに伴って能登半島地震では津波も発生し、被害も拡大しました。地震によって亡くなれた方々の冥福を祈ると共に早期の復興を祈るばかりです。

さらにロシアによるウクライナ侵攻、中東のガザ地区にイスラエルの攻撃など未だ続いていきます。金光教の願いである「世界の平和と人類の助け合い」の実現に向け、私たち信奉者はどう願って行動していけばいいのかを考えなければと思います。そういう中にあっても天地の働き恵みは平等に与えくださっています。地震によって崩壊した海、山川の再生が行われ、生き物は再び戻ってきます。

「天と地の間に人間がいる。天は父、地は母である。人間、また草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きている

のである」とあります。

4月になるとこのみ教えのように、同じ場所、同じ時期に福寿草、クロッカスの花が咲き、山には人間が手を掛けることなく、天の働き、土の働きによって、ふきのとう、行者ニンニク、ウド、ワラビ、ふきなど順番に出てきます。

本部大祭祭詞に「天地の御恵みを礼び畏み、互いのいのちを尊び合い、天地の道理に基づき生き方を進め」とあります。教主金光様の願いを共に一人一人が世界の平和を祈りつつおかげを蒙ってまいりたいと祈念しております。(田中)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二番地
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―三六一

「デイスコダンスの日」

コロナが流行するまではご

大祭の直会で色々イベントをしていたのを覚えている方もいるだろう。もしかするとデイスコダンスもしていたかもしれない。

昨年暮れ、50歳前の若者？を通じて、ダンス指導者に「デイスコダンスを教えてください」と頼んだ。するとことはすぐに実現し、ご祈念の時間の後にダンスの練習をすることになった。

教会のご祈念は、百年祭の前までは朝5時だったが、10人以上の人々がお参りをしていたと思う。それから今も続けている。それでも6〜7人の人達が参拝していたが、コロナの流行で誰もお参りをする人が無くなり、教会長夫妻だけのご祈念が続いていた。

それが毎週水曜日ご祈念

の後にダンスの練習をはじめると、7人が参加するようになり、水曜日だけは賑やかになった。「信心の練習、日々の行動で神様のご都合お繰り合わせを頂いていきましよう」と訴えて朝ご祈念を進めていたが、なかなか参拝者がいなかったのに、まずは驚きである。

そういえば、婦人会の例会で、本部発行の「神人」の読書会をしていたが、高齢化のせい、一人減り、二人減りしていた。二、三ヶ月まえから数字を使ったゲームなどを交えるようにした。頭の体操をさせられている。いずれにしても、どちらも「楽しく信心を学ぶ」ということになるのだと思う。それとも、本末転倒ということになってしまうのだろうか。

(江郷)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七一一二二三二
FAX 〇一五五七一一四二二三

作家の稲生平太郎さん(英文学者の横山茂雄さんのペンネーム)が書いた「何かを空を飛んでいる」というエッセイ本があります。著者自身の体験を通じ、UFO現象をはじめ神秘体験、欧米の精霊召喚ブームをはじめ近代オカルティズム史、カルト宗教や自民族(自国)至上主義など、人間がいかに胡散臭くご都合主義なモノにだまされ熱狂してきたかが明快に論じられています。

その中で、自民族(自国)至上主義を例に、いわゆる「正しい歴史」、「真の歴史」と呼ばれるものを信奉する人についての記述があります。

一般に「歴史」は、自分の家や自民族の起源について語ってはくれません。民族や家の起源を語っているのは神話や英雄譚などの「物語」です。想像はつくと思います。「歴史」と「物語」は別物です。しかし、人間の多くはどこかで「自分の起源」を求めているところがあります。自分は何人なのか?何者なのか?いわゆるアイデンティティーってやつです。自分達のルーツに繋がりそうな「物語」があったとすると、それを読んで喜んだりすることがありませんか?

自分に都合のいいことが書いてあるので納得しやすはいはずです。逆に、自分のルーツが取り上げられていない「歴史」は間違っている受け止めるようになります。

今も昔も「人々をまとめため」に「物語」が利用されてきました。でも、「物語」と「歴史」は別物です。「歴史」には自分や自国にとつて都合の悪いことも多く書かれています。

自分に都合のいいことだけをとり上げ、それを基準にする生き方、それは過去を振り返らない、「歴史」に学ばない生き方です。歴史に学ばない生き方は必ず破綻します。それは、それこそ歴史が証明していますね。

天地金乃神様が教祖様に伝えたように「前々の巡り合わせ」つまり過去の生き方を振り返らず、無礼を重ねてきたことで、人間は「難を受け」て来ました。今起きてきたことは、過去にも起きてきたこと、その繰り返しです。

今一度、後ろを振り返り、
考え、あらたまる。これも
信心の要素かと思えます。
(玉置)

令和6年度大祭日程

	春	秋
釧路教会	5月26日(日)	10月20日(日)
北見教会	5月 3日(祝)	11月 3日(祝)
十勝教会	4月14日(日)	11月17日(日)
帯広教会	4月21日(日)	11月10日(日)
網走教会	5月19日(日)	10月13日(日)

行事報告

▼令和5年役員会

- ・日時 令和5年11月23日(木・祝) 午後1時
- ・会場 北見教会
- ・出席者 連合会役員 6名
- ・内容 令和5年度活動、会計について
次年度活動計画について

▼令和6年度総会・委員研修会

- ・日時 令和6年3月23日(土) 午後1時
- ・場所 北見教会
- ・出席者 連合会役員・信徒委員12名
- ・内容 令和5年度活動・会計報告

令和6年度活動計画・会計について
連合会内の玉串料の取り扱いについて

・委員研修 「網走川流域の会」の活動について

新谷哲也氏(網走教会)



道東地区教会連合会ホームページ(PC用)
<https://konkotokachi.stars.ne.jp/kyokai/doto/>

ご意見をお寄せください
konkodoto@gmail.com